

# 2017.01.01 Kyoni Communication Paper NEW WAVE

プロフェッショナル購買 & 生産技術パートナー **kyoni**



## ロボット推進室の設立と 2017年のKYONI

代表取締役社長  
井口宗久



皆様、明けましておめでとうございます。

2016年を振り返るとイギリスのEU離脱決定やトランプ氏の当選など「予想外の出来事」が度重なる一年だったと感じております。

一方で京二の2016年がどうであったかと言うと中国や東南アジア経済の停滞継続の影響などもあり売上は約8%減少するなど非常に苦しんだ一年でした。

利益は販間費の引き締め、為替差損の改善などにより若干増加いたしました。が、商社として肝心の売上高の減少は環境の影響だけでなく、当社としての努力不足による要素が大きかったと深く反省しております。

### 2016年9月期 決算概要

- ・売上高：46億27百万（前期比7.8%減）
- ・営業利益：1億2百万（7%増）
- ・経常利益：1億44百万円（22%増）

### ロボット推進室の設置と 2017年度の取組について

まず、売上高は前期とほぼ同じ47億、利益については2%ほどの利益率での着地を目指しております。国内、海外の事業環境について様々な見方がありますが、当社としてはまだ厳しい環境が続くという見方で横ばいの数字設定としております。

そして今期からの新たな取り組みの目玉がロボット推進室の設置になります。

#### ■ ロボット推進室の目的、概要

ロボットは皆様もご存知の通り、日本、そして世界で間違いなく伸長して分野になります。

当社はロボットの販売自体は数十年行っており、

前期もそれなりの成果をあげてきましたが、販売は一部の分野のお客様に限られておりました。しかし、もっとロボット販売分野を広げること、販売を更に伸ばすことを目的として、専任営業兼全社のロボット販売推進をミッションとするロボット推進室を設置いたしました。

体制といたしましては前千葉所長の寺内がロボット推進室長に就任いたしました。まず、メーカーさんのご協力により、長期のロボットの研修を受けさせていただきました。

そして、自社でもロボット購入して、お客様のもとでデモを実施したり、自社で様々な動作、アプリケーションの検証ができたりする体制を整えております。

まだその活動はスタートしたばかりですが、お客様への提案、デモの実施や、各地域で各自動化分野（溶接、搬送、ピッキング、画像処理・・・）に強みをもつセットメーカーさんとの連携強化等に向けて精力的に活動を行っております。

ロボット推進室の設置は当社として新たなチャレンジになります。今回京二会でご講演をしていただいたニュースダイジェスト社の岩波徹様から「今そこにあるチャンスをつかめ」というお言葉をいただいております。まさに今そこにあるロボット市場の伸長というチャンスへ当社は人や物への投資を行い、販売を伸ばしていきたいと考えております。

## ■ 中国製品の新展開について

当社の中国工具、中国製品の販売事業は2006年のJIMTOFへの出展を皮切りに本格的に開始いたしました。2016年JIMTOFで10周年を迎えることができ、中国製品の売り上げは日本京二と京二上海併せて年約5億円にまで伸長させることができました。

そして、今後の展開といたしましては中国製品群の幅を広げること力を入れて参ります。中国製品については超硬工具、PCD工具を中心に販売をしておりますが、昨今では鋳物、砥石、バリ取りツール、ブラシなどの販売も開始いたしました。鋳物部品はある建機メーカーさんに採用いただき、安定供給を続けておりますし、バリ取りツール等は今回のJIMTOFでも常に多くの引き合いをいただいております。これからも商品の幅を広げる活動をしてまいります。

## ■ 新規開拓強化の継続

そして、ある意味では最も大事なのが、当社として根幹である「機械工具、搭載部品、水処理・環境機器」の新規開拓に力を入れ、それを継続していくことです。

これは商社としてやっていて当たり前のことですが、一方でこれまできちんと取り組めておらず、一昨年から重点テーマとして取り組んでおります。

前期は約38社と新たにお取引が始まり、全体の売上に占める新規顧客の売上比率は4.1%と一定の成果をあげることができたと考えております。

そして今期は弊社も出展したJIMTOFご来場者様との新規お取引引きや、仕入先さんとの共同開拓活動によって新規比率を5%まであげることが目標に活動してまいります。

こういった当たり前のことを継続し、そして成果を出すことが、そもそもの京二の体質を強くしていくのだと考えておりますので、強く推進をしてまいります。

2017年の京二の活動、そして新たな取り組みにご期待いただき、そして引き続きのご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。